京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金一圓
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久靜一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大大三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

●隨想（五）（九）

小松夢涯

明治は四十三年經つた、明治は四十三年經つたが四十三年は一彈指の間に過ぎた、「一彈指の間に何か出來るか」と吟んだ詩人もあつたようにればねて居る。

然し紛糾たる明治の過去四十三年は遂に國民の覺醒の幾分を促した、藝術的の自覺も亦將に起らんとして居る、我々は今日既に新文藝の興味を豫想し得るのである、然しながら我々が燦然として明治の文明史を飾るに足るべき大藝術に接するには、まだ、前途猶遠しである、國民は誇るに足るべき藝術を生せしめんに、猶餘りに個人的覺醒が足りなゐ、藝術は藝術家の藝術に非ずして、「人格的國民」の藝術でなければならぬと思ふ、國民の人格的覺醒が遂せらるゝに非ざれば、人格的の藝術は得て望む可らざるものである「アート」は「ツート」にあり、「ツート」は「スピリツク」にあるとさへ言はれてをる、我々は靜かに修養して「パーソナル」なる生活がして見たいと思ふ。

（十）

そうして仕事を愛さなければ眞面目の仕事は出來なゐ、藝術を愛する人にして、初めて、眞の藝術家になれるのだ、その愛とは何であるかと云へば、つまり人格的對象物に對する一の情緒である、隣人との關係、朋友間の交際、師弟間の交際凡て皆人格的接觸であつたい、「カーライル」は「凡ての着物を脫げ」と云つた、見苦るしき遠慮や、忌む可き猜疑や、嫌惡や、虛榮や、凡て此等の衣は人格的接觸さへ出來ねば毫も必要は無い、厳めしい身份への要も無く、短刀直入直に牙城に肉薄する方がどんなに手輕でいゝか知れぬ、斯くの如くして、始めて、友に對する眞の友情が起り、眞の敬意が生ずる、友誼ハ醇、弟道の完きは、かくして初めて期し得られるのである、そうして宇宙の靈と純化なる人格的接觸の遂せらるに到つて、初めてそこに天才があるのだ、盲目「シルトン」が「パラダイスロスト」を出したり聾の「ベートベン」が「ソナタ」を得たのもこれありしが爲めである。

彼れ「カーライル」の「凡ての着物を脫げ」との言は眞に滋言ではないか、私格は此の人的接觸と云事を讀者諸君に切に希望する者である。

雜報

●製糸業と産繭

平壤の大橋組にては平南道内に生産したる春蠶繭約一百石を買收し兩三日前之れを大分縣中津製糸所に送附し試製糸に附したる由なるが其結果の如何により或は明年より大に産繭の買收を行ひ而して製糸業に着手せんやも知れずといふ尙某當局者の言によれば同地は産繭の集收及び買入れに甚だ有利なる地位に在りて其相場の如きも道内一般に未だ標準とすべき價なければ手段方法宜しきを得るに於て頗る格安に購入せらるべし朝鮮の地繭は一石につき約二十圓より二十五圓内外なるも是れは製糸に適せざる粗惡のものなれば論外として改良日本蠶種より得たる産繭にても三十圓より三十五圓位の相場にて極上繭にても四十圓に上りたること少く而かも繭質は日本本土の産繭に比して決して遜色なし故を以て目下一部の商人は之れを小包郵便物として日本に送附し相當の利益を得つゝあり隨つて同地に於て製糸業に從事せば尠からざる利益を得る事明白なりと次に平南道に於て産出する繭の石量は昨年約一千石なりしが本年は新たに日本改良蠶種によりて飼育したるもの增加し居れるを以て道内の桑葉存在量より推算し優に一千三四百石の産繭を得るに相違なかるべし又昨年或は一昨年頃より各地に栽植したる改良日本苗桑も明年頃より漸次其用に資せらるべきにつき二三年後には二千石内外の産繭を得るに難からず旁々平壤に於ける糸業は極めて有望なりといふ

●電燈料金の比較

目下木浦電燈株式會社創立事務所に於ては内地の模範としては東京、大坂、朝鮮にては京、仁、釜山各地電燈料調査中なるが各地一箇月の電燈料は左の如くにて之れによつて普通使用する十六燭の電燈料を比較すれば京城二圓二十五錢釜山一圓九十錢南滿洲一圓三十錢等にして京城が最高價格なる事を知るべし

▲八燭光（京城八十錢大阪五十五錢京都五十五錢）▲十燭光（京城一圓十錢大阪一圓京都八十五錢横濱九十錢）▲十六燭光（京城二圓二十五錢大坂一圓三十錢京都一圓十錢横濱一圓三十錢）▲三十二燭光 京城四圓大阪二圓二十五錢）▲五十燭光（京城六圓大坂三圓五十錢名古屋二圓）

●校舍增築問題

平壤市は其發展に伴ひ小學生徒の激增著しく明年度より教室の狹隘を告げんとするの趨勢を見るに至りたるを以て翌年度に於ける增築計畫に就て當事者は二十四日民團役所樓上に集合し協議會を開きたりと

▲鎭南浦 鎭南浦民團役所に於ては廿八日頃民會を召集して小學校問題及土地無償交換其他の諸件に就て附議す可しと

文苑

●神宮奉齋會朝鮮本部幹事常在として初て京城にすまひたる夏

梅雨久といふに因みて 安元滋足

しだり尾の鷄の林の雨そゝき長長し日も幾日へぬらむ

近詠

雨中郭公

郭公聲ふりいでてなけやなけたのが五月の雨雲のそら

澤螢

こなぎさく淺澤水の底滴みかげさへ見ねて飛ぶ螢かな

雨中蓮

梅雨の音さはがしき蓮葉に池のころもすまぬ頃かな

月前水鷄

うなゐらが今日も濁しし川水を月にすませて鳴水鷄哉

掬泉

立寄てむすぶかやねのさゝら水さらさら夏の暑さ共無

●殘念

角力狂

角力見物に出掛けた、稽古最中であつたツコデ「ころ／＼ところげ稽古の角力哉」と戯れた、イヨ／＼呼出三番勝負となつて雨がポツ／＼降り出して今日は休業と宣告された部屋には新横綱の太刀山から雨で殘念ですと挨拶すれば、よく降りますと答へた「長雨に髀肉の嘆や御關取」と戯れ、夫れから宿へ行つた旅恭が始つて居た『長雨に碁も打ちさし角力宿』鉛筆で小角力た、戯れた、酒宴がまり掛けた肉も酒も澤山なものだ、人間の喰ふとは思へない呆れて「牛飲し馬食す雨の角力宿」とやつて傘を借りて飛んで歸つたアー殘念

召使れ初　第百十四回

黒法師



『れ察抵抗ひ、皆様御油斷なされまするな』

澤野もきつと身を捩ね、年こう老いたれ、手の中に覺ねあり、れ察など物の數ともせぬ高慢の氣、詞の中に現はれき

『れ抵抗ひは致しませぬ、れ察どのれ身に曇りのないことを申し上げるでございます』

れ察は騷ぎたるさまも無かりき、この多くの女中達、万が一指一本にても觸るゝことあらば、その分にては置くまじく腕に力を籠めて立ちぬ、まことにれ察一たび立てば、うれに列み居る多くの女中は、木の葉の風に散らせるゝが如く散らん、れ察の身は石ならねど、その魂は鐵なりき、忠義を思ふ魂は鐵なりき

『叛逆謀反の加擔人する陪婢、恕しはならぬ、疾く縛し上げ云はせませい』

澤野の下知は再び下る、日頃力自慢のれ侍女皐月は、有無をも云はせずれ察の腰に飛び付きぬ

されどもはれ察が一振り身を振りたるに由りて消し飛ばされぬ、續いてかゝるは誰、更に續いて躍りかゝる後數三五人が一齊に左右前後より跳び蒐りて、れ察を其處へ倒さんとす、宛ら大木の周圍に樵夫ども折り重りて、太き幹を仆さんとする様なりき

『れ前方れ歷々衆、物の理を御存じであらせながら、謀反の事由、知らせられぬでござりまするか』とれ察は此時、猶沈着きて『凡そ謀反と申すは罪無い忠義兒を、多勢を恃む方々が、無理難題を仰せられるでござります、忠義の光りを掩ふやうに、有る事無い事云はせられるでござります』

『あの口を塞いで遣りやの』と澤野は腹立しさに堪ねぬ如く地團太踏み

『あなた方多勢して、このれ端女一人を縛し上げる事ならぬでござりまするか』

『まづ御覧なされませ』と皐月は再び起き上りて、れ察の右の手を無手と取りぬ、彼女は一流三浦派の柔道の手にての大敵を仆さんとするなりき

『澤野様へ申上げまする』とれ察は皐月に手を取られたるまゝなりき『皆さまは多勢、私は一人、運を天に任せて此處に勝負致します、れ宜しうござりまするな、れ差配は弓矢御神、私一人が皆様のれ相手致すでござります、それでも私が敗北、皆様れ手に縛し上げられ、生恥を晒すことでござりますれば、れ峯様御謀叛、私も加擔人、いかやうれ捌きなさせられても、一言不足は申上げませぬ、けれど多勢のあなた方御敗北、一人の私、勝利を得ることござりましたらば、弓矢御神御謀反を御守護の筈ござりませねば、あなた様今仰せられた、れ峯さま御謀叛の事あり
や間違ひござります、其事御承知ござりませうな』

『左様なこと取り決めるにも及ばぬ、承知ちやわの』と澤野は事も無げに云ふ

『さうと御承知ござりまするな、万一私、勝利となる上、れ峯様れ身の上に故障無いでござりまするな』

『ゐゝ面倒、二言はない』と聲高に云ひ切つて『皆様、彼の口引き裂いてれ遣りなされませ』



京城新報

商業會議所の根本的組織改正

商業會議所會頭問題に就て尠なくも議員間に意見を異にし、互に拮抗して遂らず、終に公共機關は個人勢力爭ひの舞臺たらむとするの有樣を呈するに至りしを以て、當時吾人は「商議問題の斷案」と題し議員諸士の反省を促かすと共に一般に警告する所ありしが、幸に調停者あり吾人の主張通り圓滿に解決を告ぐるに至りしは寔に慶すべき事なり、然して近く適材の會頭を得らる可きを信じ、玆に吾人は商議所議員は素より一般商工業者に向つて、商業會議所刷新の根本策を提供せんと欲す。獨り京城のみならず、商業會議所の振はざると、一般商工業者が之れを自己の機關として重要視せざるとは各地を通じて殆んど揆を同ふせり、是れ畢竟會議所の組織が時勢に伴なはずして、唯形式のみに拘泥するの傾向あるに因らずんばあらず。ろも商議所組織の根本を討ぬれば、世界に亘りて英國の流れを酌むものと佛國の爲す所を本位とするものとの二に分るゝは吾人の喋々を要せざるも少しく蛇足を添へむか、即ち英國の會員組織に學び所在地の重立てる商業者等が商工業界の先覺者を以て自ら任じ、商議所を指導機關として活用せむとするものと、佛國の如く商議所なる法人體に重きを置き、所在地の商工業者は必らず商議所の維持費を負擔す可しとなすものとに區別され我國にては其範を佛國に執れるは言ふ迄もなし。然るに佛國式組織は餘りに嚴格に過ぎ事規則に羈束せらるゝが爲め法人體其者が克く活動するにあらずむば目的を全ふする能はざるのみか、法人體の要素たる商工業者は何事も商議所の爲す儘に放任し、若商議所の爲す所に滿たざらむか終に當然負擔す可き經費の賦課さへも厭ふの傾向を呈するは既に我國にて否京城にても事實として現はれ居れり、之に反して會員の意思は直ちに發表され何等形式に制肘せらるゝことなき英國商議所の組織を應用せむか、側面より觀て規模の狹小なるやを想はしむるも、其行動の自由なるだけ活躍の範圍從つて廣く、經費に至つても會員の醵出に須るものなるを以て佛國式の如く之がために煩勞すること無くして、隨意に商工業助長機關たるの本能を發揮し得可き一大便利を具備せるにあらずや。吾人の商議刷新の根本策なるものは要するに此英國式の會員組織を學はむとするに外ならず

尤も在鮮各商業會議所特に京城商業會議所の如き、從來各種の公共機關整頓せざる時代にあつて公共の爲に盡力せし功勞は蓋し沒す可からざるものあるも、今日の半島は昔日の半島にあらず、內地人側における公共設備は遺憾なく整ひ、從つて商議所を煩はす範圍は次第に縮少せられ、且又商工業者は各々業體によつて商組合を組織し自ら進展を圖り其組合基本金の如きも案外に侮いべからざる額に上れるものあるに關はらず、商議所の賦課金を厭ふ所以のものは、これ商議所を然迄大切に感せざるがためなり、而して商議所定款を見るに商工業に關する法規の制定改廢施行に關し意見を官廳に開申し及び商工業に關する意見を表示する事、商工業に關する事項に關し官廳の諮問に應する事等を規定せるも、吾人不幸にして未だ官廳より商議所に對して重要なる諮問をなしたるを聞かざるは、官廳が商議所を重要視しをらざるの證左となすも敢て過言にあらざるなり、更に商議所議員の撰擧に徵せむか、候補者は投票を得むが爲に運動し撰擧者は無意識に投票をなすに過ぎざるの傾向あるは選擧期の數十日前より白紙の委任狀各所に現はれ、撰擧者は之に捺印して運動者に交附し、其何人が撰出せらるゝも毫も意に介せざるに見て知る可し。噫、如此にして安むぞ會議所の機能を全ふし得べけむや、今にして之が刷新を圖せずんば、畢に商議所不振の聲は一轉して、不要說隨所に囂々たるに到らむ、然れども現行組織の下にありて開展の策を講じ以て其機能の發揮を庶幾するは到底不可能に屬す、於是乎吾人の提供せる根本的組織改正策に對する研究を一般商工業家諸士に望まざるを得ず。若それ、吾人の建策にして容れられむか蓋し京城商業會議所は全國に向つて好模範を垂るゝものなり、諸士乞ふ之れを忽にする勿れ。

東京電報

●朝鮮の基督教青年會合同行惱 日韓併合以來日本基督教青年會と朝鮮に於ける皇城基督教青年會との合同に關し丹羽總督府囑托等種々劃策する處ありしが若し合同すれば其實權は日本青年會に掌握せらる可しとの杞憂を抱き合同を希望せざるものあるを以て今尚行惱みつゝあり

▲東京暴風後報 廿五日夜來に廿六日午前二三時の間に於て國府暴風雨襲ひ市民大半安眠を得ず洲崎遊廓の如き二三の紅樓は全家旅行衛不明の者あり其他の被害少からず二十六日朝に至りて快晴になりたり

▲日米新協約内容 日米新協約に付き目下華盛頓に於て我が內田大使と國務卿ノックス氏との間に交渉を重ねつゝあるは右協約の內容が英佛等の仲裁裁判條約とは全々別にして東洋方面に於ける日米相互の利益に關する取極めを爲すものなる可しと傳へらる

▲東京暴風と損害 今回東京を襲へる暴風雨は既電の如く最も強烈にして品川大森海岸に海嘯起り逆水一面に氾濫し附近の家屋を流失し又深川區は全部浸水し罹災民は學校寺院等に避難し鐵道各線路及電話電信も一時不通となり又洲崎方面の慘狀は言語に絕し遊廓五軒激浪の爲め流失し此の外民家の倒潰流失數只今迄の調查に依れば二十四軒此の中七軒は流失全然行衛不明となり洲崎遊廓倒潰の爲め逃場を失ひ壓死又は溺死せる遊女遊客其他各區を通じての死者六十六名の多數に及び此の他多數負傷者あるも目下調查中なり

▲大藏券借替 去る五月二十三日發行の大藏省證券二千万圓及六月二十四日發行の一千万圓合計三千萬圓の償還期限は二十七日なるが今回日步一錢二厘にて借替ふ爲す事に決定したるが償還期限は二千万圓の分は九月二十五日一千萬圓の分は十月二十五日なりと云ふ

▲海獸條約發表期 過般華盛頓に於て締結せる日英米露四國海獸條約は八月中旬發表さるべし

▲衛生功勞者表彰 內務省にては來る十一月三日の天長節を期し全國衛生に關する功勞者及團体を表賞すべきに決し目下地方長官の上申に基き調查審議中なるが其人員並に團体數は總て三十の見込なりと

▲桂首相の避暑 桂首相は廿九日輕井澤の別莊に赴く筈なり

▲山縣公の快癒 山縣老公の病氣は全快せり

▲侍從武官長の樺太差遣 中村侍從武官長は樺太に差遣を命ぜられたり

▲芝濱離宮浸水 今回の暴風雨にて宮城の樹木板塀倒壞し芝濱離宮も浸水し多大の損害ありたり

▲京濱電車復舊 暴風雨の爲め廿六日東京間不通となり京濱間の鐵道は同日午後復舊したり

▲南極探險隊の獻上 南極探險隊は今回ペンギン鳥一羽鮮鳥一羽阿房鳥一羽を天皇皇后兩陛下に獻上したり

雜報

●朝鮮軍制改正内容 陸軍省に於ては近々朝鮮駐剳軍司令部條令の全部を廢止し之に代ふるに朝鮮總督府陸軍部條令を制定し且つ更に朝鮮總督府官制中に一部の改正を加ふる事とし目下起草中なるが改正の內容は朝鮮駐剳軍司令部條令廢止の結果從來同司令官に附與せられたる一切の權限は朝鮮總督に移さるゝ事になり即ち總督は朝鮮駐剳の諸部隊を統率し朝鮮の防備に關する事項及び朝鮮の安寧秩序を保持する爲め必要と認めたる時は兵力を使用する事朝鮮總督は軍政及人事に關しては陸軍大臣作戰及動員に關しては參謀總長教育に關しては教育總監の區處を受け執行する事を得今後の朝鮮總督は文武兩者に於ける無限の權力を附與せられたるものと云ふべし而して新陸軍部條令に於ては總督の下に參謀部副官部統監部經理部軍醫部等の各部を置き參謀部の幕僚長として陸軍中將又は少將を置き其他の各部長官に少將又は大佐相當官を置き各自擔任の部務を掌らしむる事となす筈なりと云ふ

●朝鮮軍制變更順序 朝鮮駐剳軍司令官大久保大將は八月十七日現役停限年齡滿了に付後備役に編入せらるべき筈なるが陸軍省にては別項の如く近々朝鮮駐剳軍司令部條令を廢止し別に朝鮮總督府官制中に陸軍部を加へんとし目下調查起草中なれば大久保大將の後備役編入後は後任司令官を任命せず別記條令を改廢する迄は司令官の位置を空位となし置き其間の事務は一々總督の決裁を經て軍參謀長之を行ひ條令改廢と共に軍司令官の位置は自然消滅となる計畫なりと云ふ

●水力電氣調查準備 既報總督府本年度內に於て着手すべき發電水力調查事業は其の主任たるべき山岡技師着任し二三の部員も執務しつゝあるが尚他に專任技師一名其他技手等の就任を見る筈にて目下詮衡中なるが其着任を待ち機械の購入等をなし來る八月下旬より實地調查に着手する筈なりと云ふ而して第一期事業として京畿道江原道平安南北道の各河川を實查すべく他の各道は第二期事業に屬するものなりと

●滿鐵附屬地貸付地 最近に於ける滿鐵會社直轄各附屬地の貸付畑宅地及び其の他の坪數並に建物坪數の實狀調查の結果左の如し

	畑地件數	畑地坪數	宅地件數	宅地坪數	件數
直轄	三	七三九、六二	六	一三、三三六	三三
瓦房店	六八	一七〇九、五〇九	三	一六、四三四	七
大石橋	五七	一九八九、九七	一三六	一四、四七一	一〇
遼陽	一七	九〇五、九六二	一八〇	一七、二三六	二
奉天	一五	八三三、四六三	九一	一七、〇二四	五
鐵嶺	三三	二〇六四、四〇一	三二一	一〇七、一三一	九
公主嶺	二	一六九二、〇八	三〇八	一〇七、一九一	九
長春	三	五〇〇、五九六	二九一	一六一、八九二	一
本溪湖	三	三、八〇五	三〇	八一、九八八	
安東縣	二	五〇一、九三二	一	一〇三、八九二	
撫順	六	九四、一五五	三五	二、九九七	
煙臺	二	三六、六〇〇	三六	五、五〇九	
合計	二一一	一、一六五、一六〇	一二九七	四五〇、六三三	一、五六七

尚右の總計は件數に於て一千九百二十一件又畑地宅地其他の坪數は一千百八十六萬六千四十九坪餘となれり右の外撫順炭坑內の畑地十四件坪數十五万一千四百三十三坪宅地百四十一件坪數一萬一千九百九十五坪又煙臺炭坑內の畑地坪數四件坪數九萬七千三百六十八坪等あり

此外建物貸附は左の如し

	件數	坪
直轄	八六	二、六一五
瓦房店	同 七九	同 一四四
大石橋	同 一五二	同 三、五三八
遼陽	同 四五	同 一、五五四
奉天	同 二	同 三三七
鐵嶺	同 五	同 四二二
公主嶺	同 一一	同 二九三
長春	同 二一	同 六五〇
本溪湖	同 三	同 五八
安東縣	同 二四	同 六七八
合計	同 四二八	同 一〇、二九六

右の外撫順炭坑內に四件三百餘坪あり

●鴨綠江架橋工部被害 鴨綠江架橋場回轉橋足場流失に就き未だ減水に至らざるを以て被害の詳細を知るに由なく單に水面上のみの足場なれば損害は二萬圓內外にて濟むべしとの見込也加して作業用機械其他附近に積集せる木材等の流失は合して約二萬圓の被害なるべしと

●第一期の民團收税調 京城民團に於ける四月一日より六月末日迄の第一期收税成績は左の如し

	調定額	收入額
民團税	六三、五三三、七八	二四、三二九、三三
使用料及手數料	二、一三六、〇九	八、八〇九、八九
財產收入	三、二九五、一八	六七四、四八
雜收入	四九、〇三	四七、七三
計	七六、九六四、〇七	三三、八六一、四二

●第二期民團税賦課 京城民團にては七月一日第二期年税を賦課せるが税額五万二千四百三十一圓三錢人員一萬八千七百四十八人なり四月一日第一期は五萬九百四十九圓七十一錢人員一萬六千二百五十九人に比すれば税額に於て一千四百八十一圓三十二錢人員二千四百八十九人の增加なり

●郵便船の座礁 去る廿五日滿鐵所屬の郵便船は郵便物を搭載して安東縣附近より大連に向け航行中「アウシコウ」沖にて淺瀨に乘上げたるに浦賀丸の救助に依りて廿六日午前九時漸く浮上りたり

●法律取調委員會 併合以來連日高等法院會議室に於て開會中なりし法律取調委員會は過日東京に開會の司法官會議後一回開會せしが大体の草案結了したるを以て當分休會すべしとの事なり

●耶蘇教觀光團 三十名より成る鮮人耶蘇教徒內地觀光團は廿八日午前九時を以て南大門驛を出發する由なり因に該觀光團は始めの日程に因れば伊勢の大廟へ參拜を遂ぐる筈なりしも其後日程を變更し奈良觀物の后ち直ちに東京に行くことゝなりたり

●鮮人教員講習 既報の如く總督府に於て本年度より各道に新設したる普通學校百五十餘校に對する內地人新任教員百五十名の講習會は愈々來る七日より廿日間開會する事となりたり

●全南の蠶業熱 全羅南道海南郡蠶業傳習生は最初修業不熱心の傾きありしが教師の熱誠なる教授により養蠶の成育期に伴ひ自然蠶業の趣味を感ずるに至れり思ふに同所經費の都合上止むを得ず本月五日を以て閉鎖したるに生徒中其の養蠶具を買受け秋蠶飼育を試み斯業の發達を圖るものありと

●各法官の昇級 高等法院判事石川正氏以下四十四名の總督府判檢事は七月十七日付を以て二級俸乃至十一級俸に夫々昇級されたり

●王世子東上期 王世子殿下の東上期に就ては來八月七八日頃との事なりしも嚴妃の葬儀八月二日執行決定したるを以て東上期は多分八月五日なるべしと某宮官は語れり

●王世子昌德宮御成 王世子殿下には二十七日正午十二時昌德宮例日午餐會列席の爲め古谷御用掛小山典醫高事務官金武官を隨へ昌德宮に赴かれたり

●嚴妃葬儀費 從來朝鮮にては高貴の葬儀となれば三四十萬圓乃至百萬圓近くの葬儀費を要せしも之れ皆私腹を肥す奸官ありし爲にて今回の葬儀に就ては凡ての設備完全なるを以て私腹を肥すの餘地なければ實費五萬圓內外にて濟むべしといふ

●嚴妃葬儀行列 嚴妃の葬儀は來八月二日と決定せるが其儀式等は初め新舊兩用の事に李太王殿下より仰出されしが行列は全く古典の儀式を採用する事さし途中種々の祭儀あるため當日午前五時德壽宮出門同日午後二時閑所たる東大門外洪陵に到着すべしと云ふ

●郵便局所の增設 本年度內に增設すべき郵便局所は遞信局に於て各方面よりの申出を參酌し緊要なる場所より豫算の都合を見計らい漸次增設しつゝあるが郵便局の增設は本年度內の分は既に終了したるも郵便所は尚數十ヶ所新設の計畫なりと云ふ

●水害地と傳染病 其筋にては過般來の水害にて各地に傳染病等の發生するやを注意しつゝありしに慶尚南道密陽郡上南面に赤痢患者三名發生したるのみにして各地共水害のため特に傳染病の發生したる模樣は今日までなしと云ふ

●財務主事會議の開期 京畿道財務部にては管內各郡に於ける財務主事を召集して事務の打合をなす筈なりしも本年度の租税徵收及國有地小作料改正等の事務繁劇に居りしため其時機を得ざりしが今や略々事務の整理を見たるを以て暑中休暇後直ちに財務主事會議を開く筈なりと云ふ

●洛東江附近水害 水害地視察の爲め出張中なる高田警視より此の程警務總監部に報告し來れる洛東江附近の水害狀況を記せば左の如し

▲浸水區域 洛東江の河床は慶尚南北道の大部分なる慶尚北道上流より氾濫の個所僅少なり慶尚南道に入るや昌寧、草溪郡に氾濫し南江（晉州より洛東江に注ぐ支川）之れに加はり靈山、咸安郡の浸水、地域擴大となり三浪津に於て密陽川の合するより水勢益々增大となり加ふるに暴風雨の爲め流水停滯するのみならず遂に江口より逆流するに至り密陽郡、馬山府、梁山、金海郡釜山府の洛東江に面する一帶の平地は悉く浸水し一面海の如く怒濤を生じ慘狀を極めたり

▲被害 浸水地域の擴大なると洪水時日久しきに涉りし爲め其の被害も亦頗る大なり被害の大部分は農產物にして煙草、苗木等の特產物之れに亞ぎ其他は家屋道路堤防の缺潰あり畑作は全部枯死し稻作も殆んと枯死の狀態にあり損害高は減水數日後の狀況により之れを調查せされば判定し難きも目下の狀況にて咸安郡より下流の地域に於ても百萬圓を下らざるべし三浪津は苗木の特產地にして各道廳よりの注文もあり約二十町步培養しありしも殆んど枯死の狀態に在り（未完）

●慶南の鷄豚改良方法 慶尚南道にては鷄豚種の改良方法として各郡普通學校に改良鷄を飼育せしめ其產卵及雛鳥を學校より農民に配付せしむることとし豫算授產金中より種鷄一羽に付一ヶ月四十五錢鷄舍一個に付一ヶ月二圓宛を補助する筈にて改良鷄三百羽を購入し學校に配付したりといふ

●藤原商店主 當地永樂町に支店を有する東京有樂町の藤原商會主藤原俊雄氏は過般歐米漫遊中なりしが過日歸朝大連より廿六日夜當地に來り目下天眞樓に滯在中なり

●清津土木出張所長 總督府技師筒井武氏は廿五日付を以て土木課清津出張所長を命ぜられたり

人私

▲大庭貫一（前平壤民長）二十六日浦鹽より歸館

▲荻谷籌夫（朝鮮新聞社長）同上

▲相模嘉作（藥劑官）二十六日平壤行

▲大櫃常三郎（楊州憲兵隊長）同楊州行

▲井上光盛（開城憲兵隊長）同開城行

▲尾崎俊甫（金融組合理事）同南陽行

▲京城手形交換高▼

七月	枚數	金高
二十七日	四七八	七八、二一六、三二〇

▲治外法權▼

大和魂だ、武士道だと、我同胞の或者等が、無邪氣な空威張りに耽て居る中に、列國の關係が大分變つて來た▲英米仲裁條約は云はずもがな、英露仲裁條約へ出來すウだと云ふ、サテ此次は英獨なるか▲米國が仲裁條約締結に熱心なるは非常なもので、彼のルーズベルトの如きは、アフリカの猛獸狩りからの歸りに、態々歐羅巴に滯在して、列國政府の代表者と仲裁條約に就ての意見の交換をやつた程だ、サレば英米と云へ、佛米と云へ、下地はトウに出來て居たので、ツマリ今日に於ては只形式に因て發表する迄の事だ▲今や仲裁條約は彼の軍備擴張と同じく列國間の流行物となつた、サテ我帝國は此流行を追ふべきか否か▲重ねて言ふ大和魂だ武士道だと我同胞中の或者等が無邪氣な空威張に耽つて居る中に列國間の關係は前記の如く變つた、我同胞たる者眼を覺して可なりだ▲昨本紙の社說に言つた如く併合史料の編纂は是非共早くせねばならぬ、何となれば現在に於てさへ、併合關係の史實が埋沒せられんとして居るものが幾らもあるほど故今から五年も經過たら、何も彼も判らなくなるであらう▲京城民團納税者の一人割負擔額一ヶ年十四圓五十六錢との事だ、トコロで鮮人納税者が此程度に迄進んだなら半島財政の獨立なんぞ、譯もなく出來る▲時事新報一萬號の附錄として發行された全國五十萬圓以上資產家表に因ると我同胞中に於ける五十萬以上の資產家は其數一千〇十八人だ、サテ五十萬圓と云へば五萬ポンドだ、之が一等國の富豪かと思へば情無さ過ぎて社會主義ドコロの話か▲表中朝鮮の部に於ける中村再造だけは僅かなもの、が併し秋田某に至つては何の間違で入つたのか當人の迷惑を察し敢て本人に代り時事子に訂正を望む。

京城藝妓の半生

翡翠樓右女助（二）

右女助の名寶主義は此所にても遺憾なく發揮されたと同時又寄寶主義も直ちに實現する機會が來た、夫れは彼の**梅常陸一行**の大相撲乘込みで、彼れは賣ることの機會を捉へることも巧みだが買ふことの機會を捉へることも叉巧みである所謂**好き**こそ**物の上手**なれであらうカチョロと**鏡川**へチョッカイを出して七八十圓も借金を殘した、と云ふのは流石早々の事であるから無心の利く客もなかつたらうが、尤も此の數は今日[illegible]の主義の世界主義なることは[illegible]當人更に[illegible]はずと云ふのが三千世界の男は皆な自分の旦那たるべき資格あるものと[illegible]大相撲一行が當地引揚げ後は此れと云ふ贔屓も無いので一方を專門に稼いで居る間もなくれ**茶番師**の會我の家が乘り込んだ一座の内に**小蝶**と云ふが居た相ですが今度は其れに入れ揚げ興行中は毎日待合の**月の家**に陣を取つて倂し此れも間もなく引き揚げた、其後是れを[illegible]驚喜して呉れる客が一人出來た其の紳士と云ふは本町〇丁目の**石炭屋の大番頭**で渡邊の某と云ふ人の相で今日は[illegible]と云ふ調子で何んでも二言なく承知すると云ふ極めて有難い當世旦那に成り下がつて大に有難ツたと云ふ事である

マミ度いのは彼の**天性**で、先頃**浪花館**に興行中なりし落語の家の前座**桃太郎**に惚れて京城から[illegible]事も忘れて惚れ込んで[illegible]引つ張り出したが如何にせん待合なるものが無いので、巴城館の前の方にある**高等下宿**○○館に咬へ込んで樂しんで居る間、「何んで閣が好いんでしよう又々れ馴染の鏡川が**太刀山一行**でやつて參つたので目下盛んに再會を返して馴染をつけて**舊交を煮立**たせて居る相であるく、[illegible]間食の好きなものは[illegible]ふ心理作用なのか確め[illegible]べき價値があると思ふが[illegible]當面の急務は此の[illegible]やらに聞さん樣にすることであるが、其處が見物で御座る成る可くなら知らしたくないナ、罪だもの。（次は）**清華亭　政菊**

●秋風捨繪團扇

▽其陰に泣く島田の乙女子　先頃本紙女振り欄中に紹介せられたる仁川府尹久水三郎氏の令孃歌子の君は才色兼備多く得易からざるの風色なることは遠くは亞米利加の野に牛追ふ童近くは朝鮮の道傍に跪んで甜瓜を嚙るヨボの間にも知れ渡り居ることは申すが既に野暮なるべし、然ればさらでも美しかる今年**二十四**の娘盛りを文金の**高島田に大振袖**の派手に／＼と裝らるゝからに同じ樣な好みに裝らるゝれ母樣と列び立ち玉へるを見れば其の心築の大人び玉ひたるには似ずれ姿のみは十五か六か七と見ゆるは出まじう見ねさすること決して親御達の慾目のみにあらず、朱唇一度動けば一座冷汗の腋下に溺くを覺ふ斗り、輕羅一度飜れば新臺の塵も舞ひ先つ吸物椀に蓋をする必要なるを思はしめ刺肉皿や盃に蓋なきを嘆かしむる斗り蓮歩移る處風はチエリーの香を傳へ、纖手輕く動いてヴアイオレットの匂ひ鼻を襲ふと云ふ程に手數を掛け玉へばぞ我れてう三國一の婿がねにと望を囑し目尻を垂れて土用中の洋犬の如に舌をダラリとハア／＼息をハツませて居る方も多かり人傳して夫れと親御に申入れられたるも多かりしが何日もれ斷りの御口上は一つにて「思召忝けなふは御座るが實は彼れには夙くに親と親當人と當人も夫れと相許たる**所夫の有る身**分なれば、思召忝けなふは御座るが」と當人の身に取り甚だ忝けなくない又據ないれ斷りながら夫れ斗りでは安心出來ず「其婿樣は……」と尋ねると三郎君急に威儀をつくろひ「實は大坂の**川上謹一**の息子で目下帝國大學在學中で何年か一度は卒業致しますでムれば卒業後合衾の式を擧げる心算りで、エッヘンと御叮嚀に合衾の式を擧げ迄聞かされて引き退るが常なり

さらぬだに美しきを他所の花と決つて猶美しきに見ゆる丈けでも風流才子の宴會に袖振り合はすを喜ぶも多きに斯くと聞き知つた御兩親は何も人助けと歌子さんをば着飾らせて人の集る處を押し廻はらせ玉ふ、さらばぞ仁川の園遊會でも運動會でも何會にでも歌子さんが出なくては納らぬこと宴會にれ酒が無いと同樣にて**仁川交際界の女王**ところは歌はれてこうれ在すてふ芽出度きに此れは又如何にし玉ひしか此頃は溜息の數繁く時に星と見紛ふ眼の中の潤めることさへあり哀ましや如何にし玉ひつると探つて見ればコワ如何にコワソモ如何にコワ如何に一生伴れ添ふ女夫ぞと誓ひし**良人の君**は有らうことかあるまいことか歌子さんには空閨を何年も／＼守らせ置いて自分はチャンと**他に增花**なるものを製造し此頃の暑中休暇を利用して新婚旅行宜しくで箱根熱海と浮れて御座るを風の便りに聞き付てさてこそ「モシヤ夫れでは捨てられるんではあるまいか」思へば身も世もあられぬ思ひの胸に餘つて溜息となつて出る次第なりと

●反對に撲らる

此の程の霖雨久方振りに晴れ渡りし二十七日午前一時三十分頃新町遊廓大和新地れ茶引女郎が張店を閉ぢんとする頃壽樓戸外に傷害事件ありたり被害者は南大門外御成町百三十番戸諸澤踊藏にして二十六日午後十時四十分頃南大門通り四丁目洋服商丁字屋店員小林某松重某の二名が壽樓に登樓し小林は馴染三子を松重は外一名を敵妓に飲酒中午後十二時頃被害者諸澤外二名壽樓に登樓酒肴を命じ飲食中諸澤は仲居を呼び僕の馴染三子を呼び來れと命じたるも三子は先客に揚げあるから出來ませぬと云ひたるに諸澤は嫉妬を起し亂暴を初め隣客小林等に對し罵言を吐き或は盃を隣室に投げ込む等言語同斷の行動に隣客等は立腹して互に喧嘩となり戸外に出で大喧嘩を演じたるが時恰も素見し客多數ありてやれ喧嘩打て擲れ踏めと山の如く集り誰れが擲りしかも不明にて諸澤は頭部を負傷せしめられたり此の急報に接し派出所より出張の際は散り／＼になり加害者は何者とも知れず

●白米相場と當局

京城近頃の白米相場は殆んど朝鮮未曾有の高値にて一石二十一圓五十錢を唱へつゝあり果して其如く高價に賣らざる可らざる理由ありて然りとすれば現に角其原因が他にありとすれば何とか當局の力でされたいものだ拙者の知れる處に依れば鮮人下級勞働者は其の妻子を地方に送り歸しつゝある、本年一月から見ても實に三圓五十錢の差を見る、昨年の十月に比べると實に四圓の差がある如何に高くとも一升十八錢か二十錢の山であつたのが今日は一升二十一錢五厘を唱ふるのだ夫れでも職業でもあればよいが御承知の通りの市況さるのだ斯して此れが行き止りではないので此の分で進んだら何處まで騰るか見當が附かぬ、自由、開放、夫れより先づ食を與へよ然り職を與へよと彼の野に叫ぶ聲に聰靈を天國に導くより先づ現身を餓鬼道より救へよ、地方に在米なきが爲めか雨に沮まれて出でざりしが爲めには非ざりしか當局者の御調査を煩はしたき者也（一窮民投）

●本夫を毒殺せんとす

▽姦夫に敎唆せられて　京畿道長湍郡津縣內面東下里二統三戸韓滿奉妻鄭姓女（十九）は四十二年十一月韓滿奉の妻に嫁したるが韓滿奉は多情男にして他に情婦ある爲め常に厭忌せられ不快に感じ居りしが本年一月生れ里なる坡州郡坡平面龍山里に遊びに歸りて以來附近の李順在（三四）と姦通し深くなり李順在より韓滿奉を離縁する樣若し聽かざれば毒殺す可く敎唆されし爲め離緣を請求したるに應ぜぬより毒殺せんとせしも意の如く行かずして發見！其の筋に檢擧され京城地方裁判所に於て姦通及謀殺未遂犯として各懲役五年に處せらる

●甲種藝妓の檢擧

仁川敷島遊廓第一朝日樓抱年子事淺井つね（一七）同樓久樓事山口ひさ（一六）吾妻樓千駒事三好つな（一六）一山樓雪事石田ゆき（一七）第二敷島樓湖次事河合かね（一七）の五人は未だ成規の年齡に達せぬので各樓主は政府の手前甲種藝妓の鑑札を受けながら樓內では全然乙種藝妓で每夜客を取らし居れる不都合あり藝妓取締規則に違反さして二十七日朝警察署へ召喚され說諭放還

●奇特なる車夫

度支部理財局長藤原氏の抱へ車夫高橋某は度支部外庭に於て金子五圓餘在中の財嚢を取得し直ちに守衛所に申出でたるより種々詮議の結果司法部の給仕某が遺失せしものなること判明し直ちに同人に交附したる由なるが今時斯る業體の人に似ず珍らしき正直者ぞと一同感じ合へり

●惠比須講の失敗

本町一丁目裏通り三十四番戸活版業中邊米松（三六）は鐘路通り安藤某を連れ二十八日午後九時頃中の新地大坂樓に登樓九圓六十錢の遊興を爲し安藤には計算は心配なしとて歸らせ後にて計算が不當なりとの名目の下に支拂はぬど暴言を吐き南部署に突き出され取調中

●一時の出來心か

平壤大興面一里五統一戸平壤崇實學校生徒鄭昌祚（二二）は二十六日午前十時頃友人張汝翰が京城御成町東洋旅館に投宿中なるを訪問し談話の末に汝翰が便所に行きたる間に金時計一個（代百二十五圓）を竊取し南部署に捕はれ取調中

●豆腐を食て懲役

龍山山下町一丁目四十三番戸橫田方埼玉縣人木村普一（三一）は橫田方に豆腐賣子として雇れ中賣掛代金六圓四十二錢五厘を橫領し京城地方裁判所に於て懲役八ヶ月に處せらる

●玉勇憮然として歸る

仁川敷嶋樓の玉勇拍子は先年產みの母か亡くなつたのに又一昨日親父が病氣危篤との電報を手にして取るものも取敢ず只だ一目父さんに遇ひたいわとて二十七日午前八時十一分仁川驛發の列車で出立なせり

●懲役

福岡縣企救郡到津村千百三十番戸當時住所不定西村勇治（二七）は竊盜及詐欺取財に因り京城地方裁判所に於て懲役二ヶ年に處せらる

●女泥棒の判決

仁川府內留統戸不詳李召史（五〇）の公判は二十六日仁川區裁判所に於て懲役二ヶ月言渡さる

●大相撲

三日目の重なる勝負及び四日目の重なる取組左の如し

▲三日目勝負

勝	負	勝	負
八つ房	一陣	國響	輪飾
勝田嶽	荊茂川	敷島	能登嶽
加勝山	大崎	太刀音	玉の川

▲中入後

勝	負	勝	負
金の花	寒玉子	陣立	鐵甲
平の石	鏡川	大蛇潟	有明
黑瀬川	上ヶ汐	伊勢濱	五十嵐
國見山	土州山	太刀山	鳳

▲五日目取組

輪飾	敷島	荊藻川	大崎
玉ノ川	加勝山	小野崎	大蛇潟
平ノ石	鐵甲	陣立	太刀音
寒玉子	鏡川	上ヶ汐	金ノ花
土州山	五十嵐	有明	國見山
伊勢濱	鳳	太刀山	黑瀬川

尚は四日目は中檢藝妓の總見物あり極めて素晴らしき景氣なりき其の美しい組さん連のれ好み勝負は下の如し、本角力は來る**三十日迄日延**決定したり▲清華亭政菊れ好み黑瀬川に大蛇潟は下手投にて黑瀬の勝▲同玉千代た多摩のれ好み五十嵐に土州山は捩ひ投げにて五十嵐の勝▲同金五郎玉千代れ好み鏡川に寒玉子は下手投にて鏡川の勝▲中檢番れ好み敷島に加勝山は寄り倒しにて敷島の勝▲同一陣に輪飾は引落しにて輪飾の勝

●仁川の大角力

東京大角力太刀山の一行は三十日京城打揚げ午後六時十三分南大門發急行列車にて下仁すべく仁川驛には角力關係者一同出迎ひ樂を奏して歡迎し角力場前には各組合より勸進元に贈られたる大幟及藝妓仲居等の寄贈五色大吹拔幟等翩りて勇ましく入口にはキリンビールの緣門、サッポロビールの箱積、千鳥正宗の積樽等出來上れり初日興行は卅一日午前十一時よりなり殊に初日は中央料理店の藝妓仲居の總見物あれば當日の賑ひこそ想像の外ならん初日取組左の如し

天王山	一陣	能登嶽	荊藻川
勝田嶽	海山	八ッ房	太刀ノ音
輪飾	大崎	玉ノ川	敷島
小野崎	金の花	寒玉子	加勝山
陣立	鐵兜	平の石	鏡川
上ヶ汐	五十嵐	土州山	大蛇潟
有明	黑瀬川	伊勢濱	國見山
太刀山	鳳		

●演藝だより

▲歌舞伎座　二〇加喜劇合同一行二十八日の替り狂言及重なる役割左の如し、女心の迷ひ、れ染久松野崎村の段、は斷念、安達ヶ原三段　田樂屋の親父、袖萩、貞任（尾半）床屋れさよ（小半）武術先生（東市）宗任濱勇、武術先生の弟子（東蝶）佐平一蝶之助）深見庄七（重忠）妻れ德（四四一）

▲壽座　二十八日木村猛夫一行の代り狂言は「親子の涙」全九場なりと

▲浪花館　連日浪花光廣一行の浪花節

●小松君

夢涯君に申す、續々御寄稿あらんことを（一記者）



▲昨日の續き▲仁川曜樓へ中の新地より任替へたる朝日は例の事以來メッキャ女を拔け申候▲同樓の春海は二枚に「妾や商人か役人が好き候が常に曰く「です」と▲清月の蝶々は退院致し戰線に加はり居候▲同樓の鹿の子は醫師遇に好きなのが出來れ加けに無心も利くのよと有頂天に御座候▲同樓の紫は誠に淡泊な好い妓に候ど申す人あり▲序に同家の仲居はれ客に帶をさせるので妓がチャフコンチーバルとの事に候▲次は第一報▲清華亭の丸子は黑瀬川に昨年來の關係が本物となつたるも彈藥缺乏とあるに巳むを得ず哉る且ツクに無心中に候▲翡翠のれ染は誠に折り紙の正しき妓に候が土州に岡惚つてる時不感心に御坐候▲菊家の喜代次も又黑瀬川に嗾ひを付けて戰鬪準備中なりオイ丸子シッカリしろよ▲つた家の吉彌は仁川にて深くなつた鐵山師山內の總け斗り申居候▲清水席の細助は笑太郎や若千代や政奴やに滑元を熱心に敎へ居るも肝腎の弟子達色氣が先に立つてチッカラ力を入れないのに氣を腐らし嘆息致し居候由に候▲彼の事あつて小鈴二十圓の旦那大村君に責め折檻され申開いて曰く「二十圓斗りで貴郎一人が守れますかよう考へて試て下さい」と尤もな申條なりと申し置くべく候（郎雀）



孃ちやま坊ちやまの御答案を募ります

問題追加

孃さまや坊ちやまが毎朝お眼覺になると直ぐクラブ齒磨を使つて戴き、お風呂をお召し遊ばす時にも石鹸以上のクラブ洗粉をお使ひ下され、孃ちやまのお化粧にもクラブ白粉と仰在つて下さる程に、クラブ化粧品は什々孃ちやま坊ちやまの御宅で可愛がつて戴いて居りますが、尚ほ此上にも末永い御贔負を望む餘りに、次に掲げた三問題に就て孃ちやま坊ちやま方の御答案を載きたいと存じます。

三問題

一、孃ちやま坊ちやまは何新聞の讀者でありますか而してクラブ化粧品の何と何とを日々愛用して居られますか

二、孃ちやまと坊ちやまの御母樣や御姉樣方がクラブ化粧品を常に御求めになる信用ある化粧品店の名と場所（及び二十錢の石鹸は勿論一圓の舶來石鹸にも勝るクラブ洗粉を御使ひになる御母樣か御姉樣の實の實話を短ひ文に作りて送つて下さい）

三、日本中の最も偉人で孃ちやま坊ちやまが一番御すきな人の名五名（男でも女でも昔の人でも今の人でも宜しう御座います）

此の三つの答を次に示した雛形通りに普通の葉書に認めて御送りなさつて下さい締切は八月十日で御座います

表のきがは
東京市京橋區銀座尾張町
クラブ化粧品總本店
御子供衆答案係宛
何府何縣何郡何市何町何村番地
回答者　何の誰

裏のきがは
一、何新聞讀者でクラブ化粧品の何々と何々
二、何々商店と其場所…實話の文
三、い、何某　ろ、何某　は、何某　に、何某　ほ、何某
例へば加藤清正とか東郷大將とか云ふ如く誰でも五名だけ書き下さい

クラブ化粧品の本店では御答案を寄せて下さつた孃さま坊ちやまに御禮として抽籤で當籤者を定めて左の通り賞品を呈上致します回答者の住所姓名の書いてないものは無効でありますから御忘れなさらぬようにして下さい
（其方法は第一締切と同時に本店にては實話の文に對し審査をして甲級、乙級、丙級、戊級、等を分ち左の通り抽籤致します）

美しき賞品有益な賞品

甲	五名	三越特製の美しき時計壹個宛
乙	十名	三省堂製世界地圖壹軸宛
丙	五十名	大隈伯編纂國民讀本壹冊宛
丁	百五十名	雜誌は少女の友、實業の少年、少年、少年世界、少女界、幼年畫報、日本少年、幼年の友、雜誌壹冊宛
戊	五百名	美しき繪はがき壹組宛

抽籤は八月二十日中山太陽堂庶務部の三階で各新聞社立會の上公平に行ひ其結果は東京大阪の各新聞紙上に同時發表致します
◎抽籤法は第一番に甲級より甲五本を抽籤し乙級以下順次を追て乙以下の當籤者を定めることと致します



